

陸軍

指令案

(關東都督府經由)

願ノ通

但シ陸軍ニ於テ誤土地ヲ必要トスルニ當リテハ會ニ於テ建設物ヲ棄却又ハ他ニ移轉スヘシ

三月廿四

副官ヨリ築城部本部長ヘ通牒案

曩ニ當省工兵課長ヨリ照會致候旅順所在ニ
三高地當省用地内ニ建碑ノ件ニ關シ旅順戰
跡保存會總代ヨリ出願ノ趣左記條件ヲ
附シ認可相成候條承知相成度候也

左記

三月廿四

陸軍ニ於テ設テ土地ヲ必要トスルニ當リテハ會ニ於テ
建設物ヲ棄却又ハ他ニ移轉スルコト

副官見旅順要塞司令官ニ通牒案 (關東都府府案)

旅順戰跡保存會總代見別紙等ノ通牒出候處左記条件ヲ附シ認
可相成候条取知相成度候也

連テ図面並ニ陸軍總務局ノ號

三月廿三

左記

陸軍ニ於テ設テ土地ヲ必要トスルニ當リテハ會ニ於テ建設物ヲ
棄却又ハ他ニ移轉スルコト

二。三高地建碑願
陸軍省 第九五二號
十月廿日

戰跡ノ歲月ト共ニ漸次靡頽ニ且之カ由緒ノ傳ハラルモ
往々ニテ正鵠ヲ失シ候ニ付永久ニ戰跡ヲ保存シ保テ正確
ナル表示ヲ為ス目的ヲ以テ先ツニ三高地ニ永久的標識
碑ヲ建設致度候間御許可被成下度別紙設計書
收支豫算書、設計圖、附近一般圖、建設位置圖相添
此段奉願候也

明治四十四年十一月廿一日

旅順戰跡保存會總代 押上森藏

陸軍大臣男爵石本新六殿

關東都督府	副旅第二七號
陸軍部經由	明治廿五年十月廿三日

國面初ねに多海
 係多及定
 子立海

二百三高地標識碑建設設計書

一 敷地

碑ハ二百三高地東北峯上ニ設置ス其ノ詳細ハ位置
 圖及設計圖ニ示ス如シ敷地所要坪數ハ方九間トシ
 基礎面ハ現在地面ヨリ稍高上セシメ其ノ周圍ニ砂
 利ヲ敷置ス

二 仕法及構造

碑ハ本體基塔及基礎ヨリ成ル(本體ニ乃本大將揮毫ノ地名ヲ鐫刻ス)
 本體ハ三十年式銃實包型ニシテ彈丸部ハ中空ナル
 ミニエーム製藥莢部ハ青銅上部基塔ハ鑄鐵下部基塔
 ハ鍛鐵製戰利品トス
 基礎ハ二號比頸ヲ以テ八角形ノ三段積トナス上中
 段ハ厚各。米五。其ノ隅角ハ滿洲花崗石ヲ江戸切

トナシタルモノヲ疊積凡シ各邊上部ニ小敵ヲ附シタ
 ル縁石ヲ設置ス下段ハ厚〇米三〇ニシテ地中ニ打
 設ス下段ノ八角形對角線長四米
 上中段比頭部表面ニ膠泥塗ヲ施ス
 其ノ詳細ハ設計圖ニ示ス如シ

建設費及維持費收支豫算書

一 收入

一金 參千圓也

二 建設費

一金 參千圓也

但有志者寄附金

内譯

金貳千參百圓也

鑄造費 運搬費 共

金七百圓也

基礎費

計 參千圓也

三 維持費

將來維持費ヲ要セサル見込